

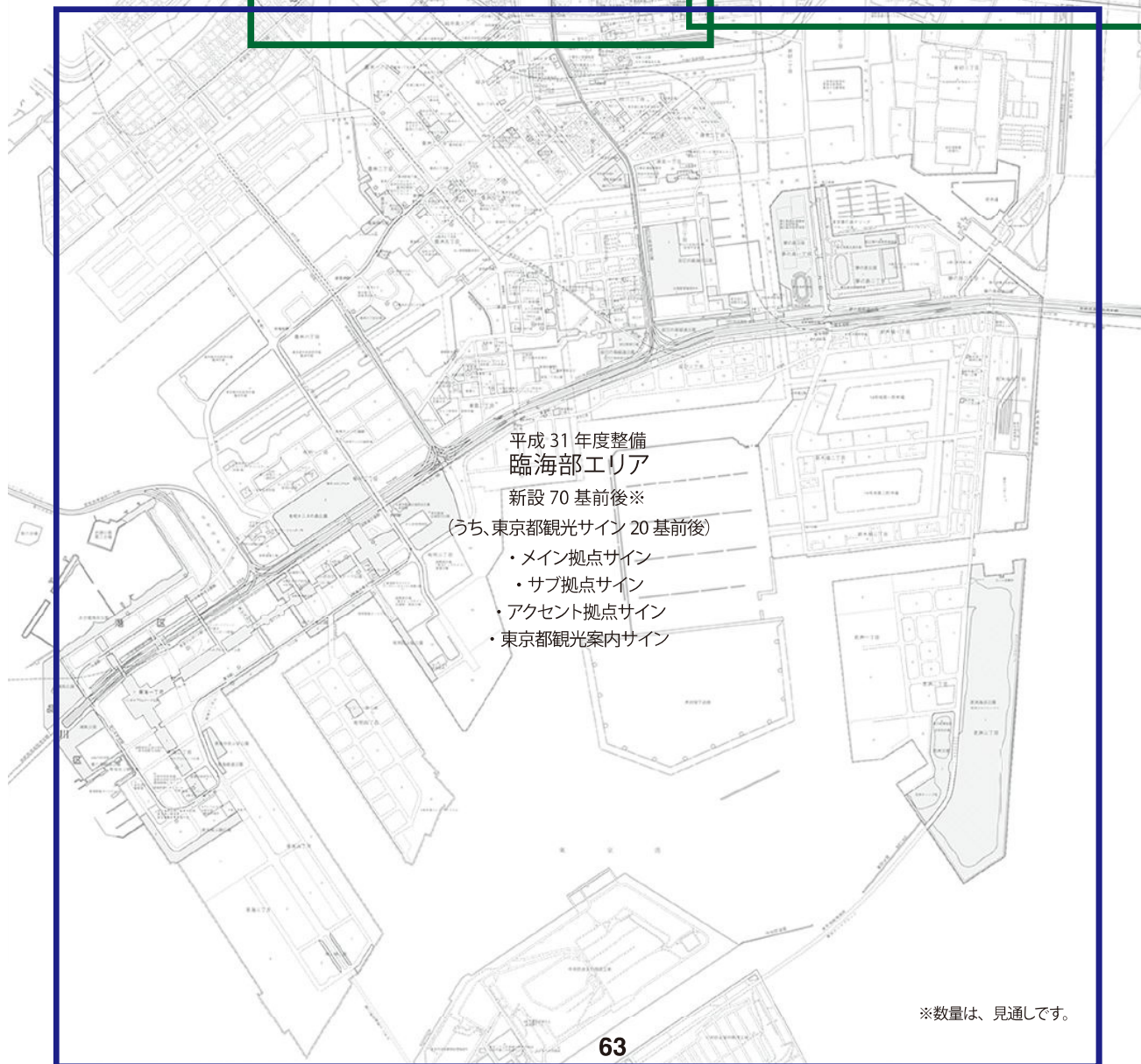
■整備計画の概要

【整備の方向性】

- ・現況のみちしるべサインは、定点サイン以外は全て撤去する(約280基)。
- ・東京都の観光案内サインと併せた整備とする。
(都の観光案内サインの整備は、H27～31年度で実施)
- ・平成31年度整備は、臨海部エリア及び既存市街地(H30年度整備対象以外)の駅出口を重点的に整備する。

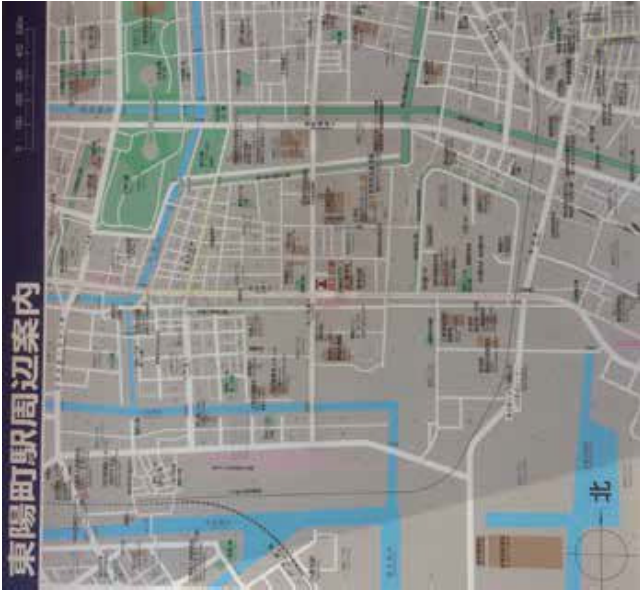
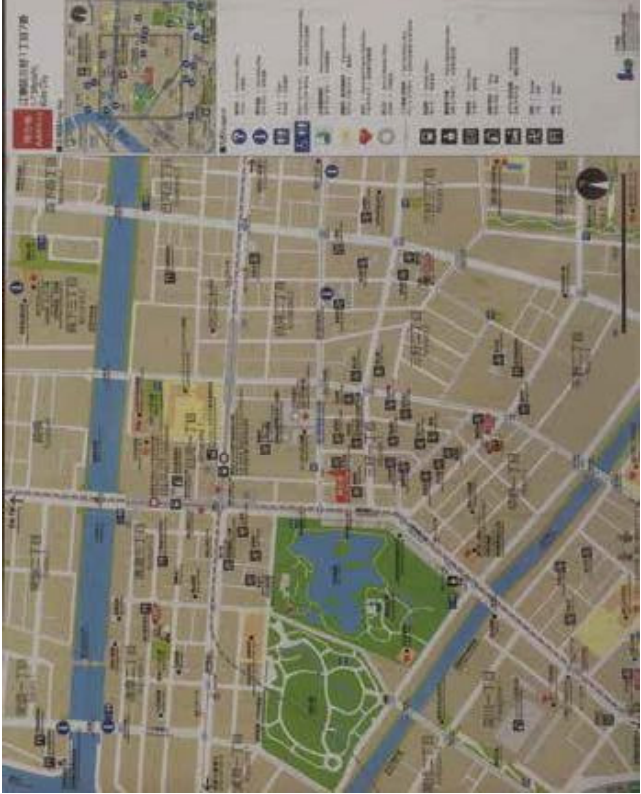
【今後の課題】

- ・誘導情報表示について、区独自サインと都観光案内サインとのすり合わせが必要。
- ・施設誘導の線状配置(誘導サイン整備)の詳細検討。



※数量は、見通しです。

■ 現行の公共サインの比較 案内図表示の比較

	江東みちしるべ	東京都 観光案内サイン
地図事例	 東陽町駅周辺案内 地域振興課管理 大拠点サイン	
表示面の大きさ	大拠点 1000×1000mm、中拠点 500×500mm、小拠点 300×300mm	1000×1000mm 程度（主地図）、250×1000mm（広域地図 250×250 程度と凡例）
掲載範囲	大拠点 / 半径 1.2km 1/2,500、中拠点 / 半径 600m 1/2,500、小拠点 / 半径 200m 1/1,500	主地図 / 1km 四方程度（半径 500m） 1/1,000、広域地図 / 2km 四方程度（半径 1km） 1/8,000
文字の大きさ	和文文字高の最小は 5mm 以上、現在位置表示 12mm、駅名和文 10mm 英文 5mm、主要施設名和文 9mm 英文 4mm、区名和文 25mm、タイトル 45mm ※全て素測	和文文字高 5mm 以上、英文文字高 4mm 以上を標準、英語やその他の言語表記は日本語文字サイズの 3/4 程度、ピクトグラムは英語の 3 倍以上の大きさとすることが望ましい ※別途資料あり
多言語化対応	日本語・英語の 2 言語表示だが、英語併記されているものとされていないものが混在 凡例ピクトは表示なし	地図面：日本語・英語の 2 言語基本（地域の状況に応じその他の言語を記載する場合は主要な施設名称に限るなど） 凡例：4 言語（日本語・英語・中国語※・韓国語）を基本（地域の状況に応じその他の言語の使用を検討） ※中国語は簡体字の使用を基本、地域の状況等により繁体字を使用
掲載基準 （民間施設の有無等）	駅、道路、川、橋、バス停、公共施設、公園、スポーツ・レクリエーション施設、名所・史跡等 民間施設の掲載はなし	観光関連団体、地域住民団体等の意見を踏まえ、官民の区別にかかわらず住民や旅行者等が多く訪れる施設やランドマークとなる施設、公衆トイレ、バリアフリー施設等を掲載する。 観光案内サイン等の設置位置には 1 マークを表示することが望ましい ※別途参照
表示設置高さ	地図面中心の高さ：大拠点 1500mm、中拠点 1250mm、小拠点 1300mm	車いす利用者と立位の利用者の双方が見やすいよう、地図面の中心高さ 1250mm 程度に設定
その他	現行の大拠点、中拠点、小拠点の地図 3 種のシステム体系を引き継ぐか、どうするか	観光案内サイン地図のデザインは 1 種のみ

■ 現行の公共サインの比較 誘導表示の比較

	江東みちしるべ	東京都 観光案内サイン
誘導表示 事例	 地域振興課管理 大拠点サイン  地域振興課管理 中拠点サイン  地域振興課管理 方向誘導サイン  地域振興課管理 方向誘導サイン	 700m 富岡八幡宮 Tomicka Hachimangu Shrine 木場公園 Kiba Park 290m  630m JR越中島駅 Echujima Sta.  150m 地下鉄清澄白河駅 Subway Kiyosumi-shirakawa Sta. 300m 清澄庭園入口 Kiyosumi Garden Ent.
表示面の大きさ	大拠点: 120×570mm、中拠点: 700×350mm、小拠点: 600×600mm	1250×250mm (1 情報の表示板あたり)
掲載範囲	大拠点: 半径 1.2km 1/2,500、中拠点: 半径 600m 1/2,500、小拠点: 半径 200m 1/1,500 方向誘導: 1 街区毎か 50m 程度	最大 2 情報まで 設置地点から一番近い主要施設 (駅、主要公共観光施設)
文字の大きさ	大拠点: 和文/H25W32.5mm (平体 英文は記載なし) 中拠点: 和文/HW25mm (英文は記載なし) 小拠点、方向誘導サイン: 和文の大きさ (調査中)	和文文字高 100mm、英文文字高 75mm
多言語化対応	大拠点、中拠点誘導表示は、日本語・英語の 2 言語表示 小拠点は日本語のみ 方向誘導サインは 2 言語表示 ※いずれもピクト表示なし	日本語・英語の 2 言語を基本 地域の状況等に応じ、中国語や韓国語等 その他の言語を記載する場合は、視認性に配慮する。
掲載基準 (民間施設の有無等)	駅、公共的施設、通り、名所・史跡等、民間施設の掲載はなし	最大でも 2 情報まで 設置地点から一番近い主要施設 (駅、主要公共観光施設など) 民間施設の掲載はなし
表示設置高さ	大拠点サインの誘導表示下端までの高さ 1570mm 小拠点サインの誘導表示下端までの高さ 1135mm 方向誘導サインの中心高さ 1350mm	路面から高さ 2000mm (観光案内図と併設されている場合、2 情報を中心)
その他	- 大拠点～方向誘導サインのシステムの流れで一貫した誘導サインデザインとなっていない - 文字が小さい、ピクト表示がない、距離表示がない	- 白地に黒文字は全国共通デザインで地域アイデンティティに欠ける - 文字数の多い場合の縮小率が高すぎて、判読性に不配慮である - 掲載施設情報数が 2 情報までなので、少なすぎないか

江東区 地域振興部 地域振興課 地域振興係
2018 年 3 月